

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法によっている。

リース資産（所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産）

重要性の乏しいリース取引（300万円以下）については、通常の賃貸借処理の方法による。

その他についてはリース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	140,104,629	13,418	28,634	140,089,413
合 計	140,104,629	13,418	28,634	140,089,413

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	(内指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	140,089,413	0	140,089,413	0
小 計	140,089,413	0	140,089,413	0
特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	140,089,413	0	140,089,413	0

5. 担保に供している資産

なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	9,172,562	8,257,058	915,504
リース資産	11,404,800	7,484,400	3,920,400
繰延資産	1,620,000	551,250	1,068,750
投資有価証券	27,313,541	0	27,313,541
合計	49,510,903	16,292,708	33,218,195

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
国債(第346回)	50,199,804	50,840,000	640,196
国債(第351回)	89,889,609	91,413,000	1,523,391
合計	140,089,413	142,253,000	2,163,587

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
運営補助金	宇部市	0	4,537,000	4,537,000	0	一般正味財産
市民スポーツ大会等開催助成金	宇部市	0	1,874,000	1,874,000	0	一般正味財産
振興事業推進補助金	山口県体育協会	0	80,000	80,000	0	一般正味財産
合計		0	6,491,000	6,491,000	0	

9. その他

(1) 引当金の明細

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	12,825,309	1,200,155	0	14,025,464
合計	12,825,309	1,200,155	0	14,025,464

(2) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

その他固定資産・・・LED照明(西部体育館)である。